

2024年3月9日

令和5年度訪問看護出向事業報告会 出向元病院の立場から

尾道市立市民病院
副院長兼看護部長
川村美香



尾道市立市民病院

【病院概要】

- 病床数：282床
(HCU8床/地域包括ケア病棟48床を含む)
- 地域医療支援病院
- 急性期入院料1
- 地域包括ケア病棟入院料2
- 地域連携部へ在宅療養支援室を設置
- 平均在院日数：14.3日 **(2024年1月現在)**
急性期医療から在宅まで
『社会・地域のニーズに応じた看護の提供』



出向事業参加までの経緯：当院の取り組み

2007年

緩和ケアチームによる在宅訪問開始

退院前・退院後訪問の実施

2022年

11月 令和4年度、看護師の相互交流派遣研修へ参加（2回目）

看護要約の記載内容について院内で検討

2023年

3月 令和4年度、訪問看護出向事業報告会へ参加

看護管理部内で情報共有。病院長へ研修報告、出向事業参加への同意を得る

7月 出向者の人選と面接

事務部門に依頼し、協定書を作成

8月 土本ファミリークリニック土本医師、訪問看護ステーションむかいしま池田管理者、高垣看護師と顔合わせ。看護協会事務局と協定書の確認

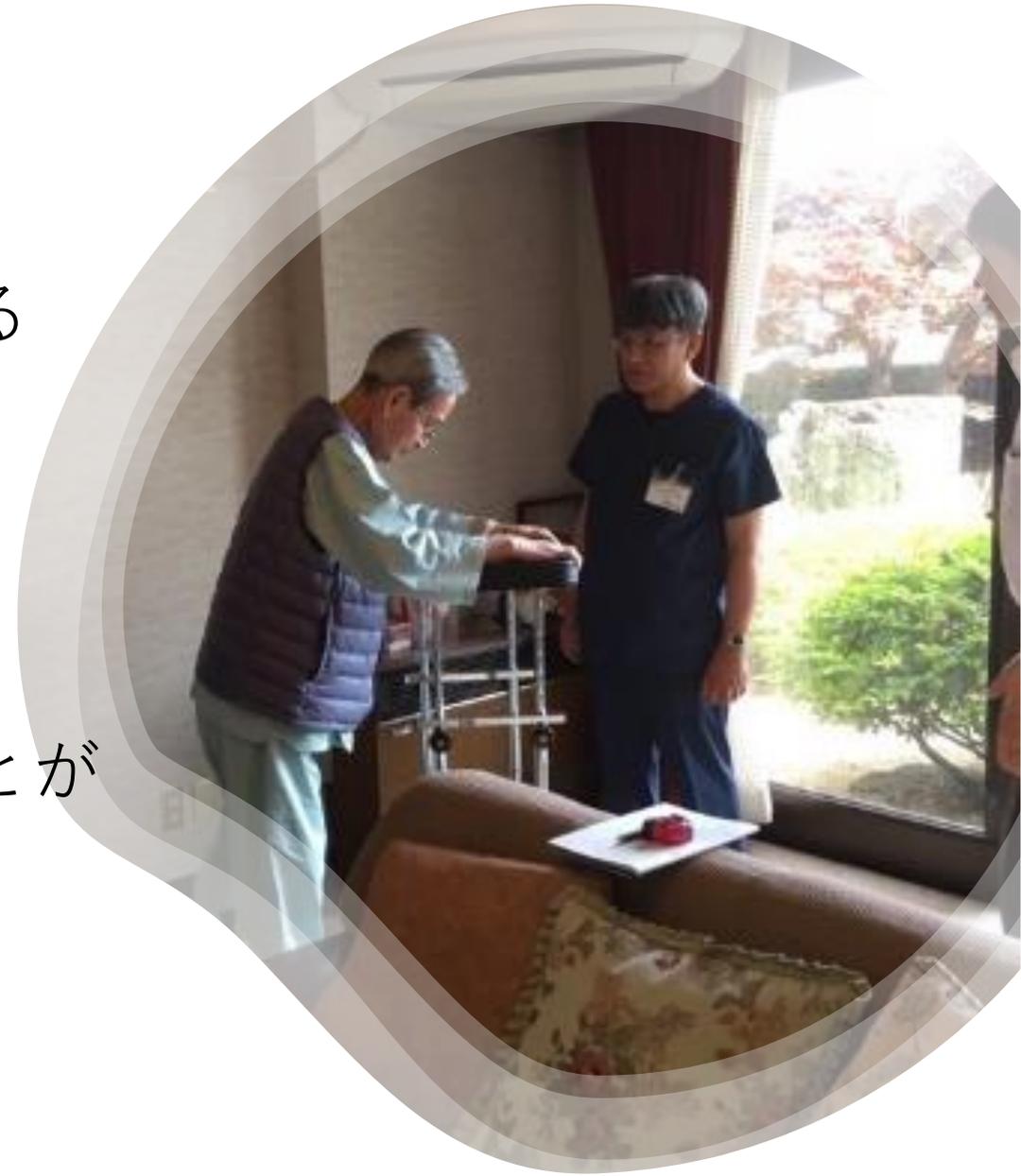
在宅療養支援の充実に向けて

【退院前在宅訪問】

- 退院後の患者の生活をイメージできる
- 入院中行うべき支援が明確になる
- 在宅スタッフとの情報交換が可能

【退院後在宅訪問】

- 自分たちが行った支援を振り返ることができる
- 患者、家族の安心につながる



訪問看護出向事業参加の目的

- 「地域で住まう」を深く知る

- * 限られた医療資源で医療処置・ケアがなされているのか
- * 在宅ならではの工夫
- * 家族をサポートする

在宅療養支援の質の向上

「在宅は無理！」が**帰れる**に変わる

訪問看護出向事業へ参加にあたり考えたこと

- 出向者の人選

- * 出向で得た経験を職員へ伝えることのできる人材
教育的・指導的役割を果たせる人材
- * 看護実践能力を兼ね備えた人材

 救急病棟・整形外科病棟での勤務経験をもつ看護主任

出向中

2023年

9月 訪問看護ステーションむかいしまにて出向者の顔合わせ

出向者本人の居住地と出向先には距離が・・・

10月 訪問看護ステーションむかいしまにて、事業振り返り

出向者の所属師長と出席

11月 ZOOMにて、2ヶ月め事業振り返り

デイサービスの見学など多くの学びの場。訪問看護師の実践を見て、経験

12月 土本医師を交えて事業の振り返り



在宅の現場で得た学びを伝えることが使命に

訪問看護出向事業へ参加後、取り組むこと

- 報告会の実施
 - * 出向者の学び・気づきを組織全体へ伝える
- ラダー別教育プログラムへ
 - * 在宅療養支援についての企画する
- 看護要約の検討の継続
 - * 在宅が求めている情報とは
- 病院発行の広報誌「しまなみ」への投稿
 - * 地域との更なる連携強化

そして

- 在宅療養支援をすすめていくなかで、在宅（訪問）看護について語る
 - * 訪問看護が担う（担える）内容について、具体的に話す
 - * 安心して在宅療養を継続できるように一緒に考える
（患者・家族、訪問看護ステーションと）

地域で住まうことを支援するために、病院職員がどう関わるか

ご清聴ありがとうございました

土本ファミリークリニック土本医師、
訪問看護ステーションむかいしまの皆様、
サポートしていただいた看護協会事業部の皆様に
感謝申し上げます。

